

—アイリス—

XI 花き類、樹木類の病害虫防除

1 花き

アイリス

発病・加害時期
発病・加害最盛期

月 作型・病害虫名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
促 成 12 月 出 し								x---x 冷蔵	● 球根植え	↑ 収穫		
白 絹 病 青 か び 病												

白絹病

留意事項

- 未熟な堆肥を施用すると発病を助長する。
- 土壤表面に湿気があり、土壤温度が20°C以上の場合、発生しやすい。
- 土壤pHがやや酸性になると発生が増える。
- 連作すると発生が多くなるため、できるだけ連作を避ける。

防除方法

- 被害株は株元の土とともにほ場外に持ち出し処分する。
- 土壤消毒を行う。(XIII 土壤消毒 参照)
 - バスアミド微粒剤、ガスターD微粒剤 効果** [一]

【花き類・観葉植物 20~30kg/10a は種または植付前/1回】
- 予防的に下記の薬剤を施用する。
 - リゾレックス水和剤 14**

【花き類・観葉植物 500~1000倍 株元かん注 3L/m² ー/5回】
 - タチガレン液剤 32**

【1000~2000倍 土壤かん注 3L/m² 定植時及び生育期/6回】

青かび病

防除方法

- 無病の球根を選ぶ。
- 冷蔵処理を行う場合は、湿度が高くなりすぎないよう空調を行う。また、処理中に球根を入れ替えて罹病球を除去する。
- 植付前に下記のいずれかの薬剤で球根を処理する。
 - オーソサイド水和剤80 M4** 【400倍 30分間球根浸漬 植付前/8回】
 - ベルクートフロアブル M7** 【100倍 10分間球根浸漬 植付前/1回】または、
【200倍 30分間球根浸漬 植付前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。